



巻頭言

特定非営利活動法人
LED照明推進協議会
副理事長 谷山 之康

早いもので今年も桜の咲く時期となりました。街中では若人の希望に満ちた姿を見かける今日この頃です。

しかしながら、我々を取り巻く経済環境は、必ずしも明るいものばかりとは言えません。我が国においては、政府の様々な施策にもかかわらず景気回復は足踏み状態で、今後は大型の企業再編も予想されております。

海外に目を向けると、隣国韓国では、友人の国政関与疑惑により朴大統領が弾劾訴追にまで追い込まれ、関連事件に連座した財閥企業の経営陣が逮捕されるなど、経済界にも衝撃が広がっています。欧州では難民問題などを契機にEU加盟国間に亀裂が広がり、ついに英国のEUからの離脱表明という事態にまで至り、加盟国全体が揺れています。米国では昨年の大統領選挙の結果、大方の予想を裏切り、「アメリカン・ファースト」を旗印に掲げるトランプ大統領が誕生しました。すでにTPP離脱を表明した他、NAFTAの見直し、自動車メーカー批判など、従来米国が掲げてきた自由貿易体制に逆行する政策を行おうとしています。

将に内憂外患。我が国経済、ひいては我々の事業領域であるLEDとLED照明及び関連する産業全体にも今後どのような影響が及んでくるのか、ひと時も目を離すことができません。

しかし、憂いていても事は進みません。こんな時こそ、業界全体が心ひとつにして難局に立ち向かっていくことが肝要かと思えます。

JLEDSは今年で創立13年。当初は生まれたての赤子のようなLED照明も、今や成熟した大人として、照明の代表の地位を確立したといえます。そしてLED照明の成長に従い、JLEDSの

位置付けも変わりました。「LED照明推進」という開拓の時代はすでに終わり、これからは「LED+ α 」という新たな領域に足を踏み出して行かねばなりません。すでに照明のIoT化によってLED照明は住宅やオフィスの総合制御システムに組み込まれ、「人と明かり」という強い絆のある中核を構成しています。LED照明を使った植物栽培は、砂漠など農業不適地だけでなく、大都市のビル内での野菜栽培・供給を可能にするかも知れません。

ソーラーパネルと蓄電池、LEDを組み合わせたLEDランタンなどのオフグリッド照明は、いまだ16億人もいるという電気のない生活を送っている人々に貴重な明かりを届けることができます。

紫外線LEDを使った水道の殺菌装置は、細菌に汚染された水に悩む発展途上国の人々に大きな福音となるでしょう。

この様に「LED+ α 」という新たな分野に足を踏み出せば、我々の前にはいまだ大きな事業領域が開けています。そして各企業が、その様な新しい分野に展開していくにおいてJLEDSには大きなアドバンテージがあります。JLEDSは、原材料やLEDチップといった川上から、LED照明やその応用製品などの川下に至るまで様々な業態のメーカーよりなる、他にはない特徴を持った業界団体です。これから新しい分野に展開していくには、この特徴を生かし会員企業が相互に連携することが益々大切になってくると思われます。

JLEDSは今年度パンフレットを一新し、「LED+ α 」の具体的な活動を明文化いたします。今年度も引き続き日本経済新聞社との共催事業として、LEDシンポジウム2017やLED NEXT STAGE 2018を取り組む予定です。また各JLEDSセミナーも企画される予定です。会員企業の皆様への情報提供の場として活用していただければと存じます。

最後になりますが、これらの取り組みもまた会員企業の皆様の積極的なご協力なしには行えません。震災・災害時の「ひかりの絆」の大切さを心にとどめ皆様のご支援を切にお願い申し上げます。本稿の筆を置きます。

企画運営委員会の主な活動

【企画運営委員会報告】

◆ 1月25日に、第5回(臨時)企画運営委員会を開催し、以下の協議を行いました。

① JLEDS 方向性のパンフレットの制作について、企画運営委員会より素案が提示され、その討議を実施し、内容について確認・合意がされた。また、本パンフレットの制作にあたり、デザイン・印刷等が必要となることから、2社にデザイン検討・見積り依頼を実施したことが報告された。次回の企画運営委員会にて、両社の提案を検討し、最終的な判断を実施することとした。

② 平成29年度の活動について、企画運営委員会より計画案が提示され、承認された。具体的な活動は「JLEDS 活動の方向性分科会」「海外情勢等調査分科会」「新企画検討分科会」にて実施することとした。

◆ 2月16日に、第6回企画運営委員会が開催され、以下の協議を行いました。

① JLEDS 方向性のパンフレットの制作発注先について、企画運営委員にて提案現物を確認したが、「A社は価格優先、B社はデザイン優先」と同じ条件での比較ができないことから、一旦保留とし、A社に対しデザイン優先とした場合の提案をしてもらい、改めて判

断することとした。

② 3月24日に開催する理事会での提議内容について、事務局より提案があり、承認された。理事会では各委員会の活動報告案、年間行事計画案およびJLEDS方向性のパンフレットの報告を行うこととした。また、繰越金の活用については、原則としては手を付けず、今後新たな事業を計画する場合に再検討することとした。

◆ JLEDS 方向性のパンフレットの制作発注先について、3月2日に企画運営委員によるメール投票を実施し、B社と決定した。今後の進め方として、3/24の理事会にて承認、5/16の総会にて承認の上、配布することで進める。

◆ 会員企業の相互理解を深める為の活動として2月16日企画運営委員会で提案されたJLEDSセミナーでの会員企業紹介については、早速3月17日のH28第8回JLEDSセミナーで「株式会社JTBコミュニケーションデザイン」様に、同社の主催展示会であるLED JAPAN 2017の紹介をして頂いた。来年度以降もご希望を募って発表頂く予定。

(委員長 種市 章 / 豊田合成(株))

広報委員会の主な活動

◎広報委員会

第5回広報委員会 平成29年1月13日

第6回広報委員会 平成29年3月15日

第6回 JLEDS セミナー【広報委員会主催】

日時：2月3日 13:30～16:45

場所：エコリカ様会議室

参加者：JLEDS 会員企業 36名、非会員 6名 講師関係者 5名 事務局 2名(事前登録制)

参加費：JLEDS 会員企業 無料、JLEDS 非会員 五千円



<2017年2月3日 JLEDS セミナー>

講演① 「IoTが醸成する新次元とデバイス、アプリケーションの市場動向」

講演者：富士経済(株) 北朴木 高信氏

講演② 「IoTの照明活用事例と未来への期待」

講演者：ソニーモバイルコミュニケーションズ(株)

横沢信幸氏

講演③ 「IT・IoT時代の照明デザイン～公共照明の多用途とその未来～」

講演者：LEM 空間工房 長町志穂氏

※最近話題のIoTがテーマとの事で多くの参加者があ



<ライティング・フェア 2017 開会式>

り、内容も濃く大いに盛上ったセミナーとなった。

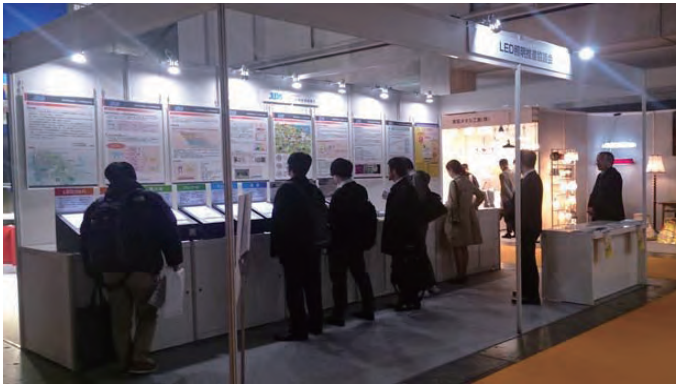
◎展示分科会

日時：3月7日～10日

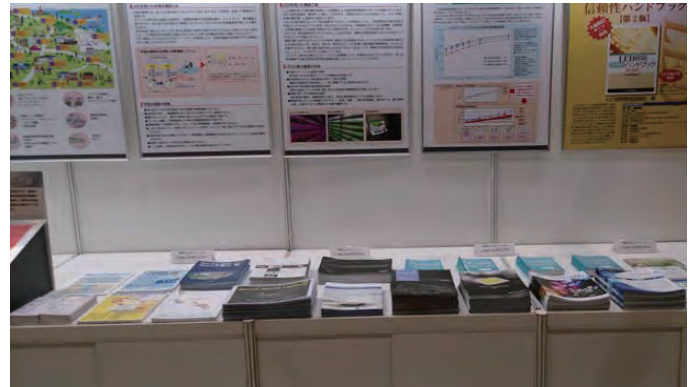
展示会：ライティングフェア 2017

出展内容：JLEDS ブースを2小間出展

なお、JLEDS ブースでは、LEDの出来るまでと特長を示すBoxやパネル展示の他、会員サービスとして会員企業



<ライティング・フェア 2017 での JLEDS ブース>



<ライティング・フェア 2017 での JLEDS ブース
会員企業パンフレットカタログ展示>



<ライティング・フェア 2017 での JLEDS ブース展示>

のパンフレットやカタログを平置きして配布するサービスを行った。

◎ HP 分科会

平成 28 年度は維持管理のみ実施、大幅な改変は行わなかった。

◎ LED NEXT STAGE2018

3 月 15 日の広報委員会で 9 月開催のシンポジウムも含めて「LNS2018 企画会議」を発足させ、LED 照明シンポジウム、LED NEXT STAGE2018 の企画を推進する。

(委員長 中尾晋也 / 大光電機 (株))

技術委員会の主な活動

1. 分科会 28A①：調査・会員サービス・・・分科会 7 回実施、JLEDS セミナー 3 回実施

主旨・調査、会員サービス (JLEDS セミナー企画、運営)

1) JLEDS でのセミナー開催

2) 外部での出張セミナー実施状況

・2016 年 9 月 16 日 LED JAPAN 2016 での JLEDS セミナー実施 (講師：星野技術委員長、大嶋副技術委員長、佐野技術委員)

・2016 年 12 月 22 日 名古屋工業大学依頼 ものづくり支援研究会での LED 関連講演 (講師：佐野技術委員)

・2017 年 2 月 21 日 日本テクノセンター依頼 LED 関連講演 (講師：加藤副技術委員長)

3) アンケートや今後のテーマ対するご意見を戴き、来年のテーマの検討課題とする。来年度も 3 回の技術セミナーを実施予定。

2. 分科会 28B①：LED 照明の光生物的・生理的応答に関する調査研究 [調査・研究]・・・分科会 4 回実施

主旨・内容：LED 照明の高照度化に伴う人間に与える光生物のおよび生理的影響、並びに生体安全性リスク評価に関する

情報の共有化と研究結果の対外発信を行った。

1) 青色光網膜傷害 (過度のまぶしさによる傷害) の生理的反応過程の調査の報告。

2) LED 光の脈動の生理的・心理的影響とリスク評価の

開催回	開催日	テーマ	講師	
			所属、役職	氏名
第1回	2016年 10月21日 参加者36名	① LED照明プリント基板による熱対策	利昌工業株式会社	西畑 武 様
		② LED実装技術の推移と現状	GT Technology	大西 哲也 様
		③ 深紫外発光ダイオードの水処理絵の応用	東京大学	小熊 久美子 准教授
第2回	2016年 12月2日 参加者33名	① 窒化物系レーザーダイオードの可能性	名城大学	上山 智 教授
		② 可視光通信で広がるLED照明の可能性	加賀電子株式会社	寿田 龍人 様
		③ 有機EL照明の性能評価と国際表儒家の動向	山形大学	内山 泰樹 教授
第3回	2017年 2月17日 参加者25名	① LED植物工場の普及を目指して	昭和電工株式会社	鈴木 廣志 様
		② DALI照明システム連携に関して～安心・省エネ推進における設備連携～	ワゴジャパン株式会社	津田 博之 様
		③ LED用最新シリコン材料のご紹介及び材料の開発、設計について	信越化学工業株式会社	大崎 明彦 様



<28A ①分科会主催 JLEDS セミナー (2017.2.17)>

報告。

- 3) LD との境界領域問題。
 - 4) シーシーエス(株)の LED 関連商品の概要と輝度測定結果および青色光網膜傷害リスク評価結果報告
 - 5) CIE JTC-5 特別技術委員会 における国際規格: IEC 62471-1 の改訂状況報告
 - 6) CIE における白色 LED 光源の放射輝度測定方法の審議状況報告。
 - 7) (株) 島津製作所より LED 関連新技術動向の紹介。
 - 8) ②2016 年 10 月開催(中国にて)された「IEC TC76「光放射の生態安全性とレーザー機器」が報告された。
3. 分科会 28B ②: 海外文献和訳、分科会 4 回実施
 主旨・内容: LED 新分野・関連技術の海外文献 / 規格を把握し、北米照明学会規格 TM-30-15、LM-85-14 を初めとする必要な文献について、和訳作業を分担することで、会員サービスと会員企業のレベルアップを図る。
- 1) TM-30-15 の翻訳 28B ③と協議し今期のテーマとしては保留とした。
 - 2) LM-85-14 の翻訳: 3 月 17 日の技術委員会全体会議とその後の第 8 回 JLEDS セミナーにて下記内容を発



<28B ②分科会主催 JLEDS セミナー (2017.3.17)>

表した。

- ・「LM-79、LM-80 への対応概説～LED における信頼性試験として IES 規格の生い立ちとエージング方法、測定方法。
 - ・LM-85-14 (今季のテーマ)
4. 分科会 28B ③: 測光標準化情報、分科会 6 回実施
 主旨・内容: 測光技術・標準化に関する国内外情報の共有化と、LED 標準ランプの提案。
- 1) 電球形標準 LED ランプのラウンドロビンテスト結果を照明学会の全国大会 (平成 28 年 8 月・東京) で発表した。
 - 2) 電球形標準 LED ランプの改良を実施した。改良後の評価は 29 期にて 3 社のラウンドロビンテストを実施予定。
5. JLES の方向づけ
 29 期テーマとしては LED 照明に限定せず「ヒカリ+α」のテーマを検討予定。
 (委員長 星野房雄 / (株) テクノローグ)

事務局からの報告

【事業活動報告】

1. 理事会・総会関係
 - '17/3/24 第 4 回理事会
2. JLEDS 委員会関係
 - '17/1/13 第 5 回広報委員会
 - '17/1/20 第 4 回技術委員会リーダー会議
 - '17/1/25 第 5 回企画運営委員会
 - '17/2/16 第 6 回企画運営委員会
 - '17/3/15 第 6 回広報委員会
 - '17/3/17 第 2 回技術委員会全体会議
3. 顧問団体連携会議
 - '17/2/8 第 3 回 LED 照明連絡会
4. セミナー関係 ※ () 内は主催委員会名
 - '17/2/3 第 6 回 JLEDS セミナー (広報)
 - '17/2/17 第 7 回 JLEDS セミナー (技術)

- '17/2/21 日本テクノセンター依頼出張講演 (技術)
- '17/3/17 第 8 回 JLEDS セミナー (技術)

【その他の活動報告】

1. 関係団体活動参加
 - '17/1/12 日本照明工業会賀詞交歓会
 - '17/1/17 照明学会東京支部幹事会
 - '17/1/30 照明関連 4 団体事務局連絡会
 - '17/2/28 照明学会東京支部照明普及賞審査委員会
 - '17/3/2 照明学会 学会技術基準及び照明関連 JIS 企画委員会
 - '17/3/15 日本照明工業会 照明用 LED 標準化小委員会
 - '17/3/29 照明学会 光源色及び演色性による区分改正準備委員会

Japan LED Association

JLEDS NEWS / 第 34 号

内容に関するご意見、ご質問は JLEDS 事務局までお寄せください。
 本書の内容を無断で複写・複製・転載することを禁じます。

発行 2017 年 4 月 1 日
 発行人 小紫正樹
 発行所 特定非営利活動法人 LED 照明推進協議会
 〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 5 番 11 号
 第 11 東洋海事ビル 6 階
 TEL (03)3592-1382 (代) / FAX (03)3592-1285
 URL <http://www.led.or.jp/>
 E-mail info@led.or.jp